

令和3年（2021年）9月2日

「やまがたSDGsフェスタ2021」に参加します！ ～オール山形の県民運動のために～

【本件のポイント】

- 山形大学は、9月23日（祝・木）に山形国際交流プラザで開催される「やまがたSDGsフェスタ2021」に参加します。
- 本学と包括連携協定を締結している神奈川大学の兼子良夫学長と本学玉手英利学長とのSDGsトークセッションのほか、YU-SDGsのブースで様々な活動を紹介いたします。



【概要】

山形大学は、9月23日（祝・木）に、山形国際交流プラザで開催される「やまがたSDGsフェスタ2021」に参加します。これは、令和3年度の山形新聞・山形放送8大事業の一環として実施されるもので、企業や大学、自治体、県民など多くの皆さまに参加いただくことで、SDGsの取組の共有と今後のパートナーシップ構築の場とすることを目的としています（当日は17団体が出展予定。なお、9/18～9/26は国連が定めるSDGs週間）。

本学は、昨年4月の玉手学長の就任以来、「地域社会の持続的な発展を支える大学」を目指すことを表明し、すべての活動をSDGsの枠組みで力づける取り組み「YU empowering with SDGs」を展開しています。今回のフェスタでは、包括連携協定を締結している神奈川大学の兼子学長と、タイプの異なる大学におけるSDGsに関するトークセッションや、SDGsの達成に貢献しうる本学の教育・研究・学生活動等をブース出展いたします。

昨年8月に山形県、山形新聞社とともに発表した「共同宣言」で謳ったオール山形の県民運動につながるパートナーシップ構築の場になります。多くのみなさまのご来場をお待ちしております。

【SDGsトークセッションについて】

日時：10:15-11:15 山形国際交流プラザ2階大会議室

主席者：鼎談者；学校法人 神奈川大学理事長・神奈川大学長 兼子 良夫 氏（リモートによる参加）
国立大学法人 山形大学 学長 玉手 英利
株式会社山形新聞社 代表取締役社長 寒河江浩二 氏（コーディネーター）

テーマ：「人づくりと地域づくり～大学とともに考えるSDGsアクション」

内容：1. なぜ大学がSDGsに取り組むのか。

（予定）2. 学生の反応について

3. 包括連携協定を結ぶ両大学がSDGsをテーマにその連携をより強固にするためには？

4. 「山形」に期待すること

【YU-SDGsの活動紹介について】

日時：10:00-17:00 山形国際交流プラザ1階展示場（10m×16m）

内容：児童生徒向けの科学実験、YUCaN（山形大学カーボンニュートラル研究センター）の取組、カーボンフットプリント体験、地域に貢献する学生団体（チーム道草、模擬裁判実行委員会）の取組、農学部附属高坂農場の農産物（ハム、ソーセージ、みそ、リンゴ、サトイモ、ジャム、ピューレ等）販売

お問い合わせ

YU-SDGs タスクフォース

エンrollment・マネジメント部 樋口 浩朗

TEL 023-628-4867 メール higu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp